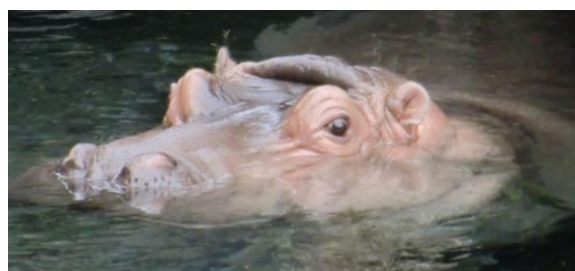
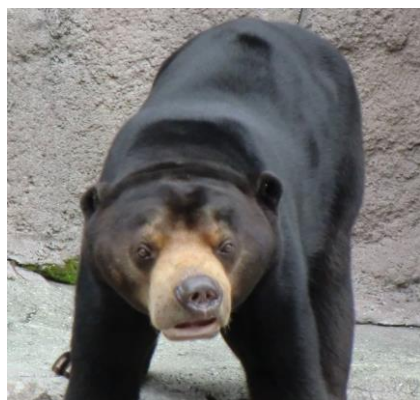


動物たちの老後は！

お子さんと出かけたりした時に、ふと疑問が出てきませんか。
動物園や水族館の生き物たちは、老後どうしているんだろうと。
イルカは死ぬまでショーをさせられている？ キリンや猿や鳥は死んだら餌にされる？
いえいえ、そんなことはありません。

水族館や動物園では残念ながら死んでしまった場合、多くの場合は死因を特定するための解剖が行われ、他の仲間たちの病気予防に役立てられたり、自然界の同じ動物たちを助けるために役立てられます。

水族館ではあまり慰霊碑に気が付いたことはありませんが、動物園は必ず慰霊碑がありますし、死んだ動物達への供養を必ず行っています。安心してください。



ちなみに、イルカやチンパンジーなどには人との触れあいを訓練をしますが、これを動物虐待という人がたまにいらっしゃいます。動物園の多くの動物は野生の世界では自力で生きていけなくなった、保護された動物達も多くいます。動物園で生まれ育ち、もう野生には帰れない動物達もいます。そんな彼らの健康状態を確認して病気にならないよう管理するために、人との触れ合いを教えています。

日本では野生動物に遭遇する機会が少ないので麻痺しているのかもしれませんが、ある日海辺に野生のイルカが迷い込み、海水浴客たちががなでたり写真を撮るために近づいて噛まれた！ というニュースがありました。

身体が大きくても野生の動物にとって人間は脅威です。

動物園や水族館では、ただ可愛いとか楽しいだけでなく、野生ではどんな生活をしているのかを知る機会にしてもらえるといいですね。